



高校生から社会人の23名がオンライン会議システムを使ってアイデアソンに参加してくれました！

土曜日の午後と日曜日。長いと思ってたけどあつという間の一日前でしたね。



←1週間前からビジネスチャットツールslackを使って軽い交流がスタート。まずは不安と期待の自己紹介から。

初日午後は、4名の講師から濃いお話し（インプットセミナー：オープンデータ/実証/起業）をお聞きした後、当日発表された7つのチームに分かれてディスカッション。

[講師：仙台市デジタル行政推進担当課長 大関守氏、同産業振興課 白川氏、テセラクト代表取締役 小泉氏、信州大学 不破教授]

2日目は朝からチームごとに、自分たちの住む地域の課題を出し合い、解決する課題とテーマを決め解決方法を考え、アイディアを出し合いました。



↑左：各チームはZoomのブレイクアウトルーム(BR)でそれぞれアイディアを出し合う。
ディスカッションはホワイトボードアプリ：↑中：に書き込みながら。発表にも使用。
全員BRから戻って、オンライン「あみだくじ」で発表順を決めてグループ発表：↑右



一表彰結果一

東北大賞 : iwaya lab
NICT賞 : 親子チーム
電気通信研究所賞 : クレムリン
耐災害ICT研究センター賞 : 学生IT支援部
Code for SENDAI賞 : 魔女のスパークリングスープ鍋
オープンデータ活用奨励賞 : あずまや
地域課題解決奨励賞 : Team Sumio



長い審査時間はチームメンバーとBRで雑談で謎の盛上り。後日、リアル賞状(名前入り：↑左：とは別)と記念品を全員にお送りしました。表彰式のあと参加者全員で↑右：記念写真を撮ってお開き。みなさんお疲れさまでした。アイディアを実現して行きましょう！

開催日：令和3年3月6日(土)～7日(日)

開催方式：オンライン

主催：東北大学、情報通信研究機構(NICT)

後援：総務省東北総合通信局、宮城県、仙台市、電子情報通信学会東北支部

参加者：23名：社会人等6名、大学生16名、高校生1名
審査員：植田理事、塙入所長(東北大学)、茨木理事、鈴木センター長*(NICT)、小泉氏(MISA/Code for Shiogama)

*アイデアソン開催時の役職

スケジュール 1日目

10:00	オープニング (9:30)
12:00	チーム作業
13:00	昼食 (各自)
14:00	開会 (13:30)
15:00	チーム作業
16:00	インプットセミナー
17:00	チームディスカッション 解散 (17:00)
	発表/質疑 (13分/チーム)
	審査(遅れてごめんなさい)
	表彰
	閉会 (18:30)